

## (2) スパイラル道場・偏差値アップ道場

皆さんの学習の定着具合を確認するもの、それが「テスト」です。「いやだな～」と思う方もいるかとは思いますが、普段インプットしてきた勉強内容をアウトプットし、理解不十分な箇所をあぶりだす最適な手段なのです。ですから、当然、スクール21のカリキュラムにも「テスト」が存在します。

### ①単元テストとスパイラル道場

まずは、前月の授業内容の定着をチェックする「単元テスト」です。毎月の最終週の授業時に行われるテストなのですが、今月の授業内容のテストではなく、わざと前月の授業内容をテストします。子供たちは最近勉強したばかりのところだと、皆、それなりに理解はできています。そこで確認テストをしても大きな収穫はありません。ところが、一ヶ月前の授業内容はかなり多くの子供たちが勉強したことを「忘れる」ため、記憶を喚起させ、定着不良の箇所を発見するのにうってつけなのです。

では、もしこの「単元テスト」の結果が芳しくない場合、そのままにしておいて良いのでしょうか？ そんなわけはありませんね。せっかく見つけ出した弱点を克服してこそ、学力アップが実現できるというものです。我々は、全生徒さんの答案を確認し、1問1問の○×をすべてコンピューターに入力して管理しています。その上で、その生徒さんの弱点の部分についてピンポイントでフォロープリントを作成し、それをつかって補習を行っています。それが「スパイラル道場」なのです。

この道場により、誰一人、もれることなく、定着不良部分のカバーが実現できます。「うちの子は引っ込み思案で分からないところをなかなか先生に質問しに行かない…」ということでお困りの保護者の方も安心です。「単元テスト」で合格ラインをこえなければ、自動的に我々の方から補習を行う、それがこの「スパイラル道場」の大きなポイントです。

### ②月例テストと偏差値アップ道場

次に、スクール21には「月例テスト」という本格的な学力判定テストがあり、ほぼ毎月1回行われています。試験範囲はあるのですが、完全な実力テストです。偏差値も毎回出されるため、お子様の客観的な学力判定にお役立ていただいております。この実力テストを苦手とする生徒さんは多いです。「学校の定期テストはとれるのに、実力テストは苦手…」というパターンです。なぜこのような問題が起きるのでしょうか？ それは、「復習」が不十分だからです。「復習」というと、その日やその週の授業の復習をすれば十分と思っているお子様もいますが、ここでいう「復習」は半年前・1年前の勉強の「復習」を指します。この「復習」を自分一人で自発的に行うのはなかなか困難です。スクール21では講習会を今までの総復習と位置づけて勉強を行いますが、それでも忘れてしまって月例テストが良くない場合は当然フォローが必要です。そこで行われるのが「偏差値

アップ道場」です。

まず、月例テスト1問1問の○×を全てコンピューターに入力し、弱点を分析して、取れていない分野のフォロー問題をプリントで打ち出します。他の生徒さんたちの正解率が高いのに自分だけ違ってしまったような基本的な問題について、フォロープリントが渡されることとなります。そして、そのプリントを課題として渡し、チェックを行っています。それが「偏差値アップ道場」というわけです。

この道場で使うプリントも、全ての生徒さんそれぞれに対応した完全に自分一人用のフォロープリントです。このように、「**全てのお子様に対して、個別的なフォローを行う**」…スクール21の教育理念でもあります。ただ、**我々の究極の目標は、これらの道場に誰一人残ることがないということ**です。最初はいろいろな道場に参加していたお子様が、次第に自立して、自らの力で運命を切り開いていく…我々はあくまでそのお手伝いをするに過ぎません。毎日の授業・毎回の道場を通して、お子様に働きかけ、そのような状態に持っていくことを最重要視しています。

現在、多くの生徒さんがこのしくみの中で毎日の勉強に励んでくれています。弱点発見・フォローのしくみが整っているので、塾は初めてという方でも安心です。これらのしくみを上手に活用して、どんどんと学力をのばしてみませんか？